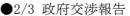

ジュゴン Vol.86

ちゃんぷるニュース

SDCC 2016. 5.24

CONTENTS



- ジュゴン訴訟の控訴の動き
- IUCN 大会に向けて
- ●4/5 活動報告
- ●6/7 報告・春の沖縄旅
- わんさか通信★ジュゴンのわ
- コラム~熊本地震と神武東征~

5月13日、第4回の国地方係争処理委員会が開かれました。係争処理委員会は沖縄県の「辺野古埋め 立て承認取り消し」の審判を6月21日までに下します。係争処理委員会がどのような判断をするにせよ、 高裁那覇支部、最高裁判所と司法の場で審理が続けられます。この辺野古埋め立て裁判は沖縄県だけの問 題ではありません。すべての自治体、住民にかかわる地方分権をめぐる問題なのです。

今年3月、高裁那覇支部は和解勧告で「1999 年地方自治法が改正され、国と地方は対等・協力の関係 である」と国による代執行裁判の提訴を批判しました。しかし、安倍内閣は今もなお「外交防衛は国の権 限」「辺野古移設が唯一の解決策」と、和解勧告に背を向け沖縄県と話し合う姿勢はありません。また、基 地建設に反対する名護市役所の頭越しに、辺野古など基地建設を容認する名護市久辺三区に補助金 3900 万円を交付するなど自治体の枠組みすら破壊しています。

今こそ辺野古の闘いを 国民的、国際的な闘いに!

4月22日、国交省水政課(裁判の当事者)とのSDCC 交渉でも「仲井真(前)知事の承認は正しい」 「翁長知事の承認取り消しは違法」と「行政の安定性」を口実に、沖縄県や県民の声を聴く姿勢はありま せん。真の地方自治を実現するうえでも、本土での辺野古埋め立て阻止の行動や、自治体議会での「辺野 古の新基地建設中止を求める意見書」採択を広げることが必要です。

そして、日米両政府に沖縄ジュゴン保護を求める三度の I U C N (国際自然保護連合) 勧告・決議を履 行させることも重要です。今年9月にハワイで IUCN 第6回世界自然保護会議が開かれます。私たちは稲 嶺名護市長とともに世界各国政府、NGOに辺野古の埋め立て反対・沖縄ジュゴン保護を訴えます。米国 連邦高等裁判所でジュゴン訴訟の再開審理がまもなく行われます。控訴審が始まれば、国防総省は埋め立 て工事の車両を現場に入れることはできません。一日でも相手より長く闘えば、必ず勝利できます。埋め 立て阻止・地方分権を実現しましょう。 (事務局 蜷川義章)

[WEB] http://www.sdcc.jp/ [EMAIL] info@sdcc.jp

翁長県知事の「埋立承認の取り消し」を取り消し た国交省との交渉(3面)



「じゅごん♡キルト」を集める取り組みが(8面)



ジュゴン訴訟の控訴の動き



辺野古・大浦湾における新たな米軍基地建設を止め、豊かな自然と人々の暮らしを守るため、2003 年以来米国で展開されてきた「ジュゴン訴訟」。その訴訟が、控訴での「原告適格」の判断を巡り重要な局面を迎えています。

2008 年に連邦地裁が下した原告勝利の判決は、私たち SDCC にも大きな希望と勇気を与えました。しかし2013 年、当時の沖縄県の仲井真知事が基地建設を進めるための「埋立て承認」を与えると、裁判の流れが大きく変わります。2014年4月には米軍が、「NHPAを遵守した」「基地はジュゴンに影響は与えない」(日本政府のアセスの結果を採用)という内容の報告書を提出。そしてその報告書の結論を根拠に、ボーリング調査やシュワブ内での工事を可能にする「入構許可書」を沖縄防衛局に発行し、工事が始まります。

原告はすぐに「NHPA 手続きが遵守されていない」「米軍による入構許可証の発行を中止すべき」とし連邦地裁に介入を求めます。それに対し米軍は、この問題は外交や防衛の問題であり、また工事はすでに進行しており、今更司法は介入できない、と主張。そして 2015 年2 月には連邦地裁も、基地建設は日米両国の合意のもと進行し、工事が中断する可能性はなく、司法が介入してもジュゴンの保全に繋がらないと判断。原告はこれ以上裁判を続けるための資格、「原告適確」がないと

し、原告の要求を却下し、連邦地裁での裁判が終了し ます。

そして 2015 年 11 月、原告は「第9巡回区控訴裁判所」に書面を提出し、控訴の手続きを開始。まず裁判を継続するための「原告適格」の有無について審理がなされています。「原告適格」が認められれば、NHPA 遵守の手続きについての議論・本審理へと進みます。本審理へ進めば、その期間中は、米軍が工事のための入構許可書を発行することは難しくなるはずです。しかし原告適格が認められなければ、その時点で控訴裁判所での裁判は終了です。

控訴裁判所がどのような判断を下すのかは判決が出るまでは分かりません。しかし「工事は止まらない」とした米軍の主張や連邦地裁の判断が、日本政府と沖縄県が日本の高裁の「和解案」の受け入れ、実際に工事が中断している事実により、大きく揺るいでいることは明らかです。その点を弁護士がどのように議論していくかが注目されます。

この原稿を書いている時点においては、担当する裁判官 (3人)や、公開審理の日程はまだ決定されていません。裁判官により判決が左右されることが多い米国の裁 判なので、裁判官が誰になるかにも注目していきましょう。

(沖縄 吉川秀樹)





IUCN大会に向けて!ワークショップに稲嶺市長登壇

9月4日、ハワイで開催される国際自然保護連合(IUCN)の大会の中で、SDCCはワークショップを行います。現在、共同

で開催する海外の ISCC という団体と調整をしています。

テーマは「利害衝突や対立関係を考慮した環境保全」です。ISCC からは対立関係がある中で環境保全が成功した事例を2つ、SDCCからは環境保全が進まない事例として辺野古を挙げます。後半では、その事例をもとに、グループに分かれてどう改善、解決するかの議論を行います。

辺野古の事例は稲嶺名護市長に話していただくことになっています。市長には、辺野古の話だけでなく、グループでの 議論にも積極的に参加していただく予定です。 2000 年、2004 年、2008 年にジュゴン保護の決議と勧告が、IUCN 大会で 3 回も採択されました。それにもかかわらず、辺野古では未だ基地建設によるジュゴン保護が実現には至っていません。今回の大会では、市長に参加していただき、環境破壊を食い止めようと必死になっている地域の生の声を大勢の人に聞いてもらうことで、共に辺野古の問題を考え、発信、行動する仲間を増やしたいと思っています。

IUCN大会では、環境保全に取り組む団体や人、政府が大勢参加します。私たちはこの大会に参加し、海外からのジュゴン保護を求める声をより一層大きくすることで、基地ではなく、ジュゴンも人も共に暮らせる地域の実現のステップにしていきたいです。(関西 正阿彌(しょうあみ))



国土交通省・防衛省、環境省との交渉



4月22日、防衛省、環境省、国土交通省との交 渉を行いました。交渉当日の午後、第 2 回国地方係 争処理委員会では翁長知事と国交大臣(代理)の 聴聞が行われました。このような情勢なので、訴訟を担 当している国交省水政課と初めて交渉を持ちました。 水政課は「仲井真知事の承認に違法性がないので翁 長知事は権力の乱用だ」の一点張り。環境保全の手 続きに瑕疵あるとの指摘は「沖縄県内部の問題だ」、防 衛省が環境影響に配慮していないことについては「防衛 省の問題」と役所的対応。地方自治法改正による地 方分権の現在、沖縄県の裁量を認めない権力的な対 応に終始しました。昨年10月13日「瑕疵ありと取り 消した 1 か月後の 11 月 17 日に代執行訴訟を起こし た姿勢そのものです。「地方自治法改正の意義が分かっ ていない」と厳しく追及すると、担当課長補佐はふくれ顔 でだまってしまい、筆頭課長補佐が「時間が過ぎている」 と交渉終了を通告。今後も国交省交渉を継続します。

防衛省では、工事中断によるフロート、台船などの海 上放置は税金の無駄であると撤去を求めました。海底 ボーリング調査で残った1本は調査期間が終了している ことを確認しました。沖縄県は裁判結果がどうであろうと 調査申請を承認すべきではありません。また、ジュゴンの 食み跡が発見された 2014 年度の海草藻場の「事後調査結果」を今年の 3 月まで公表せず、環境監視等委員会にも報告していないことを確認しました。ジュゴンの鳴き声の監視システムや機器の製作なども監視等委員会で継続議論中にもかかわらず、(株)イデアと約8億円の契約を結んでいることを批判しました。監視等委員会の軽視です。

環境省では、2015 年度のジュゴンの食み跡調査 (古宇利島~嘉陽、自然公園財団委託事業)をふまえて、早急にジュゴン保護プログラムの作成を求めました。また、外来種対策の沖縄会議(那覇事務所と沖縄防衛局など)で、具体的な議論を進めることを強く求めました。 (事務局 蜷川義章)



首都匿

戰争法廃止2000万人署名。辺野古埋立て阻止

「戦争法の廃止を求める2000万人統一署名」は、 推定全国1千万筆に到達しました。(4/22 総が かり実行委員会)署名最終集約は6月30日まで 延長され、各地で署名が取り組まれています。

戦争法廃止の取り組みは、野党共闘に発展し、 安倍政権打倒のうねりが全国に広がっています。 戦争法を制定し、改憲を目指し、辺野古の海を埋立て強大な軍事基地を建設する安倍政権に NO! を突きつけなければなりません。

5.3憲法集会に参加

平和といのちと人権を! 明日を決めるのは私たち

5月3日、江東区の東京臨海広域防災公園で総がかり行動の憲法集会が行われ、5万人(主催者発表)が集結しました。広い公園に沢山の幟旗が風にたなびいていて、とても壮観でした。ステージではゲストの挨拶や野党政党党首のアピール、リレートークでは一坪反戦地主会関東ブロックの女性が辺野古新基地問題について発言していました。

集会終了後、豊洲コースと台場コースの2つのコースに分かれて「憲法9条を守れ」などと声を上げながらパレードに出発しました。

SDCCは、フェアコープさんのブースの一部を お借りしてジュゴン帽子かぶり署名集めをしまし その息吹を感じたのが、5月3日の憲法集会でした。東京臨海広域防災公園に集まった5万人の参加者の「戦争しない」「萎縮しない」「憲法守れ」「安倍政権退陣」のプラカードが会場の雰囲気を盛り上げました。野党共闘~安倍政権打倒の力で、参議院選挙に勝利し、辺野古埋立て阻止へと結実させていきましょう。 (首都圏 三村昭彦)



た。皆さん、辺野古の問題は知っていて「沖縄だけの問題でない」「辺野古に行ってきた」「座り込みをしてきた」という人も多かったし、北海道や愛知、福島、静岡、群馬から参加した人など、多数の方が署名してくれました。みなさん有難うございました。 (首都圏 矢敷克子)

大阪 5/3戦争法廃案 総がかり行動に2万人







7 月の参議院選挙にむけて、野党共闘を 強めていくこと、戦争法廃止を実現して いくことが、強くうったえられました。 ジュゴン保護の署名もたくさん集まりま した。辺野古に行った方も多かったです。



デモでは、辺野古で歌われている「今こそたちあがろう」「ここへ座り込め」も歌いました。 (関西 松島洋介)





首都圈行動予定

「明日を決めるのは私たちー政治を変えよう! 6・5 全国総がかり大行動!

日時:6月5日(日)14時~15時半

場所:国会議事堂周辺(正門前に簡易ステージ)~霞ヶ関周辺

発言:政党代表、文化人、憲法学者、市民運動関係など。 主催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会 みんなで力を 合わせて、 政治を変えよう!

辺野古実では、毎 月、新宿デモを続 けています。6月

のご案内です。

「安倍政権は 辺野古新基地建設を断念しろ!6・26新宿デモ」

場所:新宿アルタ前

日時:6月26日(日) 14時~新宿アルタ前でアピール開始 15時デモ出発

※7月、8月の新宿デモの日程は未定ですが、集会開始やデモの時間を夕方に設定します。

「7・31 辺野古新基地を断念させる全国交流集会 |

辺野古新基地建設に反対して活動している、全国各地の市民団体、労組、若者達、環境保護団体などが、 一堂に会します。

場所:分科会は連合会館 時間:9時~12時 全体会は全電通労働会館・ホール 13時~16時半



にっこり公の子どもたち

ばってくれました。

4/23-24 代々木公園でん開催された、 アースデイ東京に今年もブースを出し てきました。2 日間の来場者数は延べ 11万人!署名1127筆を集めました。



66 1911

出会った~!

じゅごんとアース君(?)

5/15 沖縄返還の日&じゅごんの日♪ 「平和の思いを分かち合おう」をテーマに 能勢の淨るりシアターで開催された "ピー スマーケットのせ"。屋外・屋内ともたくさ んのブースが並び、能勢町の人口の1割を 超える 1200 人の来場者がおいしい食べ 物、ライブやパフォーマンスを楽しみま した。

「ジュゴンだ~、かわいい♡」





学習室で、ジュゴンと基地 についてのプレゼン







3/24~27春の沖縄旅をとおして ~これからの取り組み~

春の沖縄旅は今年で 4 回目、戦争を深く考える旅になりました。那覇市民会館で海勢頭豊さんの「交響詩ひめゆり」 バレエ公演に参加し、元ひめゆり学徒隊でひめゆり祈念資料館館長の島袋淑子さんのお話を聴くことができました。

「ほんのちょっとお手伝いしたら帰ってこれる、あんなことになるとは思わず看護要員として動員され、同級生の命がたくさん奪われた…戦場は人が人で無くなってしまう」そのお話しから、こんなはずじゃなかったと流されていたら、取り返しのつかないことになってしまう、それは今も同じだと強く思う。



翌日、島ぐるみ会議のバスで辺野古ゲート前へ。工事は中断中でしたが、全国から人々は集まり、スピーチや歌などで賑やかに座り込みは続けられていました。あ!島袋文子おばぁが座ってられる!隣に座らせてもらうと、しばらくしてから強く厳しい眼差しで「これをしっかり読んで周りに伝えてちょうだい」と冊子を手渡された。

そこにはおばぁの牡絶な戦争体験が綴られています。1 つでも基地をなくさないと死ねないというおばぁ、ジュゴンマスコットをプレゼントしたら喜んで下さった。二人の島袋おばぁからまだまだ頑張りなさいと力を頂きました。

辺野古テント村の入り口には「勝つ方法はあきらめないこと」の看板が掲げられ2004年から座り込みは続いています。暑い日も寒い日も、お盆も正月も。毎週土曜日には渡具知一家が中心となってゲート前で"ピースキャンドル行動"が続けられています。



最初に参加した時小学生だった武龍くんは今年の春から 大学生、年月の重みを感じずにはいられません。キャンドルを持って呼びかけると、手を振って応えてくれる人が 年々増えています。手放しで基地を歓迎している人などい ないのだと痛感。



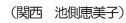
グラスボートで見た大浦湾はやっぱり美しく見惚れてしまう。この宝の海を埋め立てるなんてできないよ。読谷村では、チビチリガマとシムクガマを案内してもらう。今はひっそり静かなその場所で起こったこと事を決して忘れて

はならない。



シムクガマの入り口で月桃の花が 1 つ咲いていました。 あの夏も咲いていただろうその花に命の大切さを感じました。二度と過ちを犯したくない。辺野古で座り込み権力に 抗う人たちとつながっていたいと思う。できることをやり 続け、そして、また辺野古へ行こう。

7 月にはじゅごんの里ツアーがあります。その前に、慰霊の思い、平和への祈り、命どっ宝の心が込められた映画『GAMA―月桃の花』の上映会&平和のつどいを、沖縄では慰霊の日の6月23日にあわせて、大阪で6月18日に開催します。どうぞご参加ください。日本を戦争する国にしてしまわないために。









突然発災した熊本大分地震。被害の深刻さを見て複雑 に胸が痛む。収まる気配のない余震。生活の基盤を失っ た人々の不安。それを政治利用する安倍の動きが、不気 味である。案の定、ここぞとばかりにオスプレイを登場 させたのには笑ったが、さすがに不評で引っ込めた。恐 らく緊急事態条項制定に都合良いと考えてのこと。

オスプレイ配備撤回を求め、政府に建白書を突きつけ た沖縄の思いからすると、非常に危険である。あの時の 上京団に向かい浴びせられたヘイトスピーチ「沖縄人は 日本から出て行け」の倒錯思考を、日本人は正せないま まだ。しかも、ヘイトスピーチ規制の声を逆手に、辺野 古ゲート前の「ヤンキーゴーホーム、マリンゴーホーム」 の声を規制しようというのだから、救い難い。

今や、美しかった熊本城の瓦解を目の当りに何を思 い、反省すべきか?日本人の誇る明治国家は、軍隊でも って国民を鎮圧すべく東京・仙台・名古屋・大阪・広 島・熊本に6師団の鎮台を設置した。その鎮台熊本が琉 球処分に働いたことを、忘れてはなるまい。

態本城は、その鎮台武力信仰の象徴、朝鮮出兵で活躍 した加藤清正の築城だ。琉球国は秀吉の命に従わず出兵 を断ったが、絶対平和主義の琉球は当然のことをしたま でである。そして琉球処分に加担した、阿蘇神社も潰れ た。 やはり 龍宮神の祟りなのか?

「龍宮神黙示録」の中にも記したが、ヒミコとうない 達による世直しの痕跡が、例大祭のうない行列で見られ、 また、阿蘇乙姫の地名からしても、神武東征が阿蘇を通 ったことは間違いない。所が古事記にはそこが抜け落ち ている。あくまで神武がザンの当字であることを隠し、 ヒミコの歴史を消している。

だが驚くべきは、熊本・大分に発する中央構造線と呼 ばれる大断層線が、四国、紀伊半島、諏訪に至る、凡そ ヒミコの世直しの東征径路に重なり繋がっていること だ。そして今回のような地震が400年前にもあり、さ らに1100年前にもあったとのこと。それが何を語り、 意味するか?倭国大乱に遡り興味は尽きない。

海勢頭豊(うみせど ゆたか:SDCC 共同代表)

(わ)<u>んさか通信 ★ ジュゴンの</u>(わ)

父ちゃんは晴れ男

毎週土曜の夕方 18 時半からキャンプシュワブ入口でピ ースキャンドル行動を続けている渡具知一家。2004年の 11月から始めたこの行動も11年目を迎えた。毎年じゅご んの里ツアーでも参加させてもらっている。

三月下旬にお邪魔した時にお父さんの武清さんは上機嫌 だった。長男の武龍くんが4月から県内の大学に入学が決 まったからだ。でも名護から通うには遠く一人暮らしが始 るそうで、お母さんは少し淋しそう。

双子の姉妹も中学三年生になりテニスに陸上にと試合で 県外にも出掛けるそうで、子供たちの成長を喜びつつ家族 揃ってのキャンドル行動が出来ない時も増えたという。

雨の多い沖縄でどういう訳か土曜の夕方は天気が回復、 天候不良で行動が中止になった事は少ないそうだ。

「父ちゃんが晴れ男だからだよ~」と武龍くん。満面の 笑みのお父さん。

辺野古の基地建設が中断ではなく中止になって家族みん なでお休みが出来る日が来ますように! その日まで立ち続 けるのだ♪ (沖縄・小平)



INFORMATION

<首都圏>

<大 阪>

6/6 (月) 防衛省前抗議行動 18 時半~ 辺野古への基地建設を許さない実行委員会 6/18 (土) 沖縄から見える日本 13 時~17 時 明治学院大学白金校舎 3号館 3201 教室 6/26 (日) 6.26 新宿デモ 14 時~ 新宿アルタ前 15 時デモ出発 辺野古への基地建設を許さない実行委員会

《 今後のスケジュール 》 6/5 (日) 高槻・市民放射能測定所開設3周年の集い 本澄寺 6/5(日) ミュージカル「ガマ人間あらわる」

6/18 (†) 映画 「GAMA 月桃の花」 上映会

大阪天満橋ドーンセンター、パフォーマンススペース (1)10:30 (2)14:00 三線演奏や辺野古のお話もします 一般 前売り1000円(当日1200円)

ミーティングのお知らせ

首都圏では月に2回(不定期)、関西では毎週火曜日にミーティングをしています。どうぞお気軽に、のぞきにきてください。 6月の首都圏ミーティングは6/10(金)、6/22(水)@飯田橋事務所。 関西は京橋事務所です。 いずれも 19 時~

平和を愛する人としての繋がり~ジュゴン♡キルトプロジェクト

辺野古ゲート前テント。金網の向こうに見えるのは米軍基地 で平安に過ごす日常はあるのだろうか?

金網のこちらはいつものように座り込んで、安全で平和な日 常は無い。命の上に繋がれた今日もまるで植民地のような日々 が続いているのではないだろうか?

誰のものでもない沖縄大浦湾にジュゴンは棲んでいる。それ を海草の食み跡は示している。基地ではなくジュゴン保護区 を!の思いをもって抗議集会の合間に「ジュゴン♡キルトプロ ジェクト」に取り組んだ。基地ゼロ、戦争をしない平和を愛す る人としての繋がりをジュゴンは見事に担ってくれていること を実感した。

全国からの支援者や沖縄県民がジュゴンへの思いを丁寧に記 して下さった。子ども達が熱くジュゴンの生存を願ってくれてい ることや、ジュゴンは平和のシンボル、沖縄の宝であると言い切 って下さったオジイ、オバア達。現場の仲間たちの原動力にもな っていることを活動の中で知ることが出来た。(沖縄 高垣縁)





5/21 米軍属による女性死体遺棄事件を受け、嘉手納基地ゲート 前で怒りの抗議集会。今こそ全国から基地撤去の声を!

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL. 86 2016 年 5 月 24 日発行

ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC) 〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21

第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377

O http://www.sdcc.jp/ O info@sdcc.jp

(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野ロビル302 TEL/FAX 06-6353-0514

「じゅごん 〇 キルト」 ぷろじぇくと

IUCN ハワイ会議に向けて、取り組んでいるじゅごん♡キ ルト。イベントや街頭で呼びかけているほか、シュワブ前 テントや、保育園、会員さんたちも集めてくださっていま す。現在集まった数は400枚を超えています。キルトが



海を超え、ジュゴンの 平和の心が世界に広 がりますように。

(関西 山根富貴子)

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター 口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 〇〇八支店

口座番号 普通 8159084

ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!